

朝霞市
転入・転出意識調査
報告書

平成 27 年 9 月

I 調査の概要

1. 調査の目的

「朝霞市人口ビジョン」および「朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定にあたり、本市に長く住み続けていただくための施策検討に向けた基礎資料として、転入・転出者の属性と転入・転出の理由等を把握することを目的に実施したものです。

朝霞市の総人口は依然として緩やかな増加を続けており、同傾向は今後もしばらくは続くものと推計されています。一方で、朝霞市への転入と朝霞市からの転出状況を年齢階級別に分析すると、近年の特徴として「子どもが就学する前に世帯全員で転出している」という傾向が見受けられます。このことから、定住・子育てに関する意識とニーズを把握するため、子育て世帯ならびに転入世帯、転出世帯を対象としたアンケート調査を実施しました。

2. 調査の方法

- ①調査対象 (1)転入者（調査期間中に朝霞市に転入する世帯）
(2)転出者（調査期間中に朝霞市から転出する世帯）
- ②対象者数 (1)及び(2)のそれぞれ 100 世帯以上を想定
- ③調査方法 総合窓口課の窓口で転入（転出）手続きを行う者に配付、
総合窓口課で回収
- ④調査期間 平成 27 年 7 月 15 日（水）から 8 月 14（金）まで

3. 調査項目

- ①世帯構成とお住まいについて
- ②転入（転出）のきっかけと理由について

4. 回収結果（現時点）

- ①転入者：112 世帯
- ②転出者：84 世帯

5. 報告書の見方

①集計について

比率は、全て百分率（%）で表し、小数点第 2 位以下を四捨五入して算出しています。このため、比率の合計が 100.0%にならない場合があります。

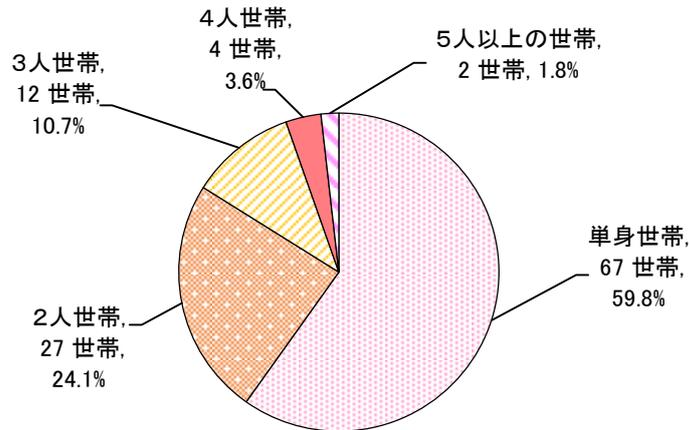
Ⅱ 調査結果（転入世帯用）

Ⅰ 世帯構成とお住まいについて

（１）今回転入される方の世帯構成について

【全体の回答傾向】

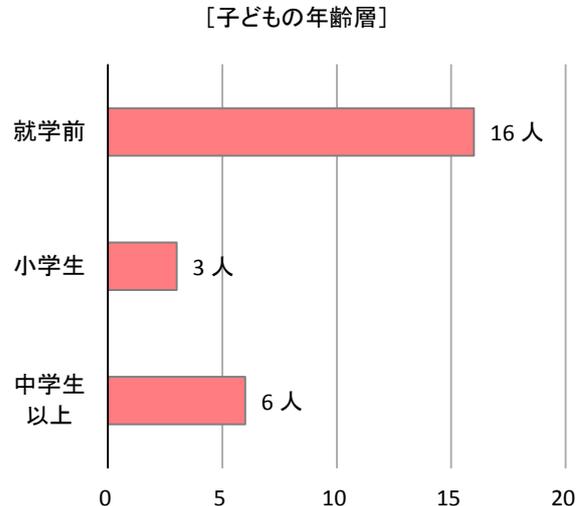
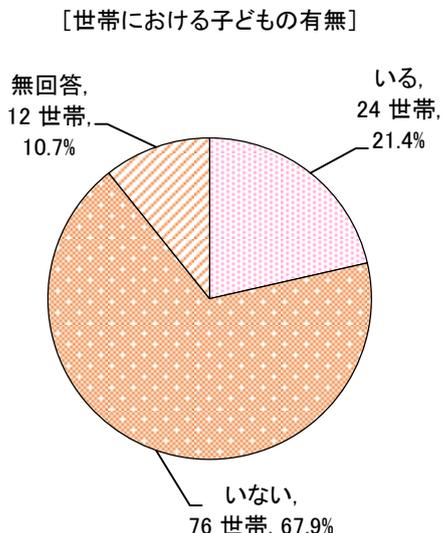
- ・転入者の世帯構成については、「単身世帯」が 67 世帯（59.8%）で最も多く、次いで「2人世帯」27 世帯（24.1%）、「3人世帯」12 世帯（10.7%）となっています。



（２）お子様について

【全体の回答傾向】

- ・子どもがいる世帯は 24 世帯（21.4%）、子どもの人数は 25 人となっています。
- ・年齢層は「就学前」が 16 人と最も多く、次いで「中学生以上」が 6 人、「小学生」3 人となっています。
- ・前項の世帯構成をみると、単身を除けば、2人世帯が 27 世帯、3人以上の世帯が 18 世帯であることから、転入者の中には、保護者一人と子どもの世帯も複数あると考えられます。

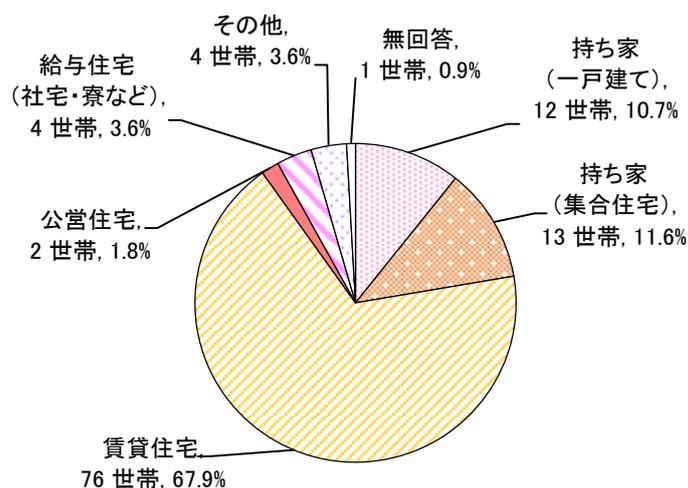


(3) お住まいになる住宅について

①住宅の形態

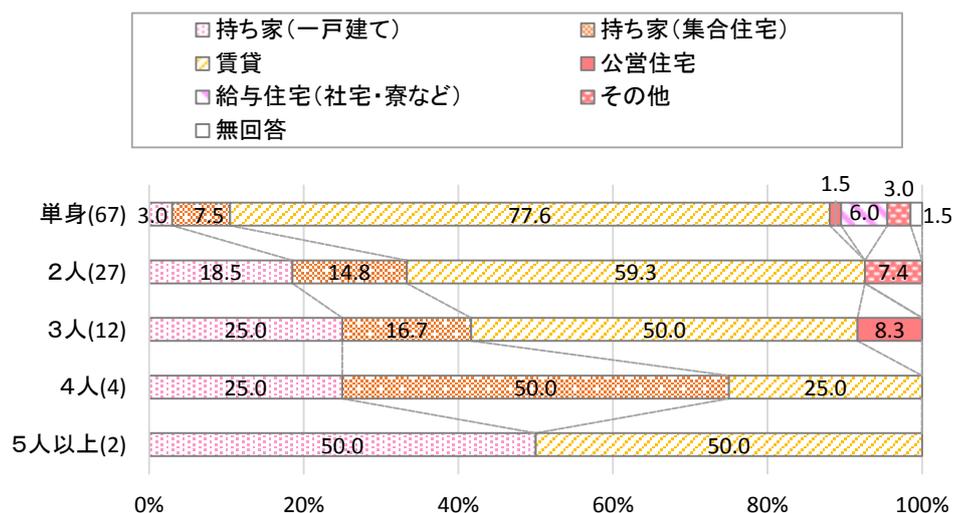
【全体の回答傾向】

- ・住宅の形態は「賃貸住宅」が76世帯で67.9%を占めています。その他の形態では、「持ち家（集合住宅）」が13世帯（11.6%）、「持ち家（一戸建て）」が12世帯（10.7%）となっています。



【世帯別回答傾向】

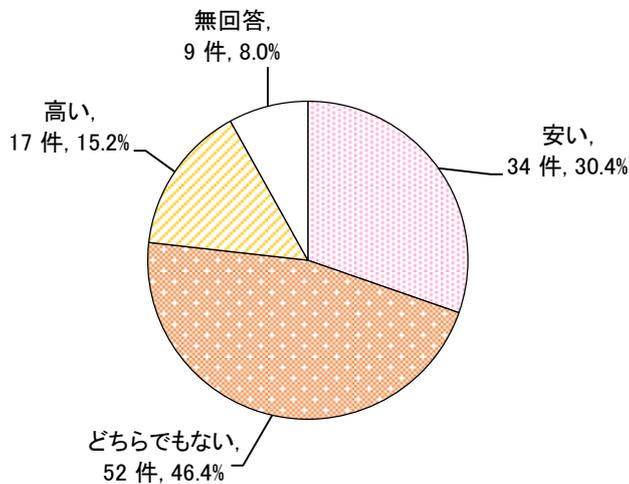
- ・単身については、「賃貸」が7割以上となっており、2人以上の世帯になると、「持ち家」の割合が増加しています。



②価格・家賃の印象

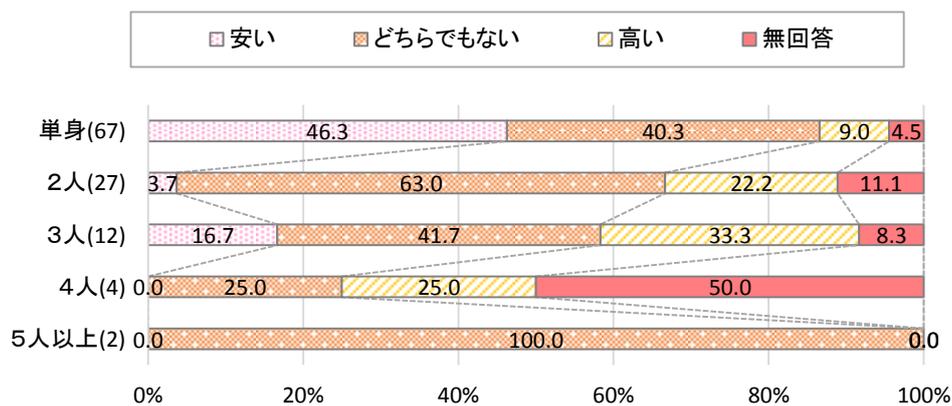
【全体の回答傾向】

- ・住宅の価格又は家賃の印象については、「どちらでもない」が 52 件 (46.4%) と最も多く、次いで、「安い」が 34 件 (30.4%)、「高い」が 17 件 (15.2%) となっており、全体として見れば、印象は「安い」に寄っていると見ることができます。



【世帯別回答傾向】

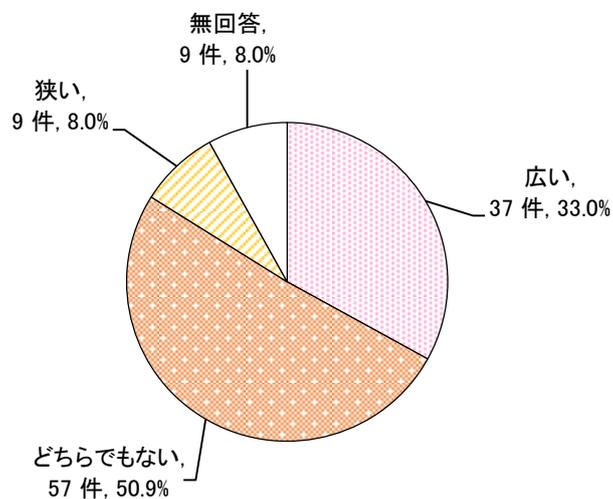
- ・単身世帯については、「安い」と「どちらでもない」という評価が高い割合を占めており、朝霞市の単身用住宅の価格は“標準的～安め”と評価されています。
- ・2人以上の世帯になると、「安い」という評価が下がり、「高い」という評価が増加しています。朝霞市の2人以上の世帯が住む住宅の価格は、“標準的～高め”と評価されています。



③広さの印象

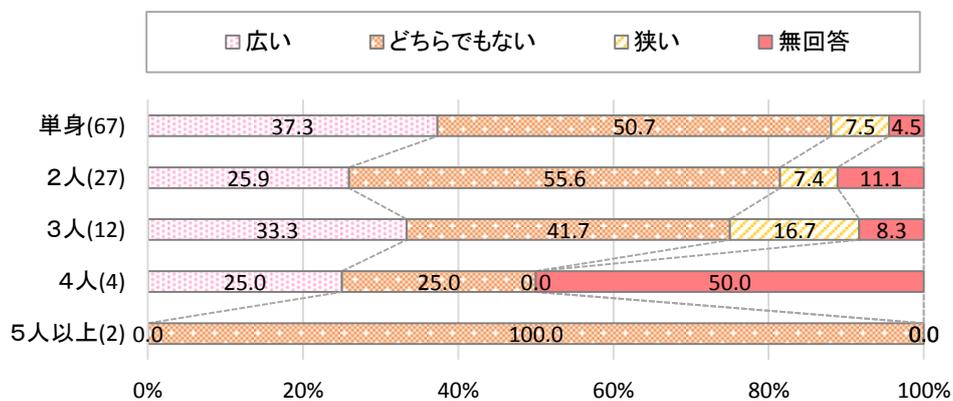
【全体の回答傾向】

- ・住宅の広さの印象については、「どちらでもない」が57件(50.9%)と最も多く、次いで「広い」が37件(33.0%)、「狭い」が9件(8.0%)となっており、全体として見れば、印象は「広い」に寄っていると見ることができます。



【世帯別回答傾向】

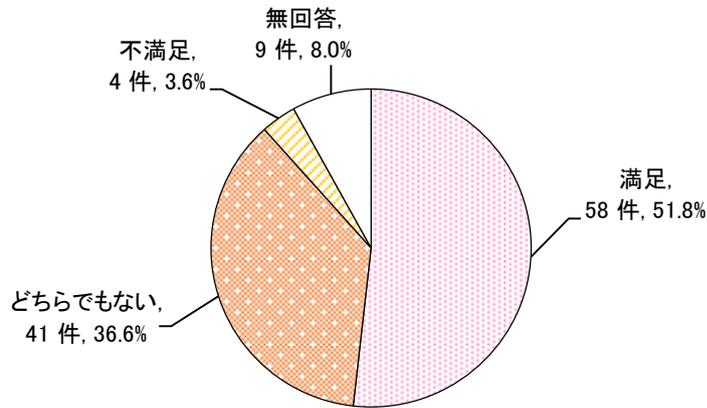
- ・世帯の違いに関わりなく、「広い」と「どちらでもない」という評価が高い割合を占めており、朝霞市の住宅の広さは“標準的～広め”と評価されています。



④部屋数への満足度

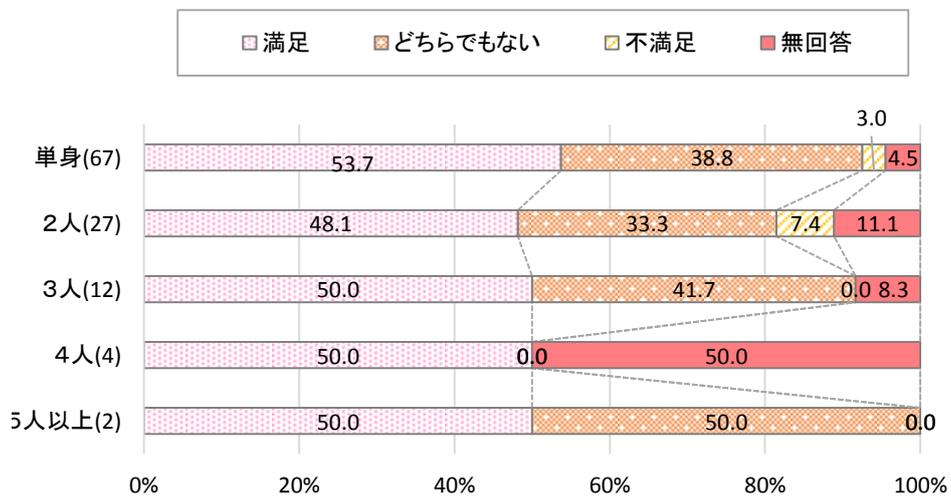
【全体の回答傾向】

- ・住宅の部屋数については、「満足」が 58 件 (51.8%) で過半数を占めています。以下、「どちらでもない」が 41 件 (36.6%)、「不満足」が 4 件 (3.6%) となっており、全体としての評価は「満足」に寄っているといえます。



【世帯別回答傾向】

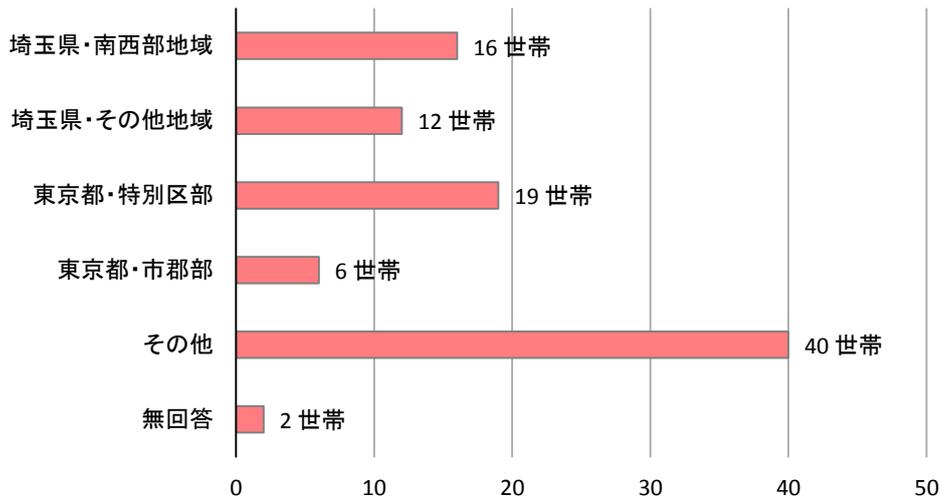
- ・世帯の違いに関わりなく、「満足」と「どちらでもない」という評価が高い割合を占めており、朝霞市の住宅の部屋数は“標準的～十分な部屋数”と評価されています。



(4) 転入前にお住まいの地域について

【全体の回答傾向】

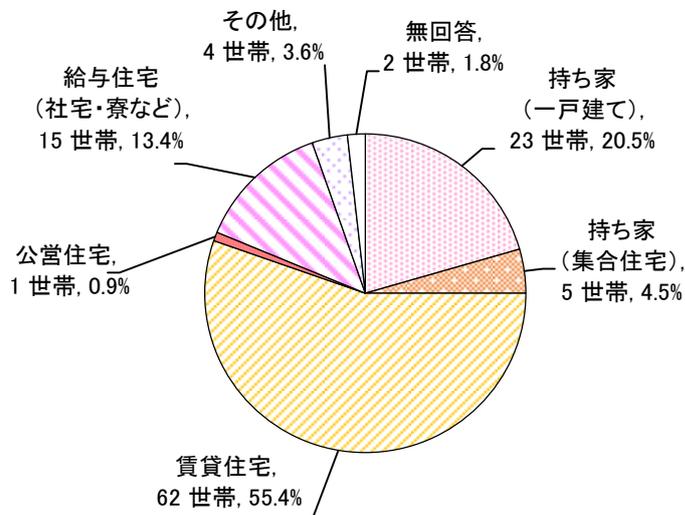
- ・転入前の居住地については、埼玉県内が 28 世帯、東京都内が 25 世帯で概ね同数となっています。
- ・埼玉県内では、本市周辺の「南西部地域」が 16 世帯と約半数を占め、内訳をみると「和光市」が 10 世帯で最も多くなっています。
- ・東京都内では「特別区部」が 19 世帯と多く、その内訳をみると「板橋区」、「北区」、「練馬区」、「杉並区」の 4 区で占められています。



(5) 転入前のお住まいの形態について

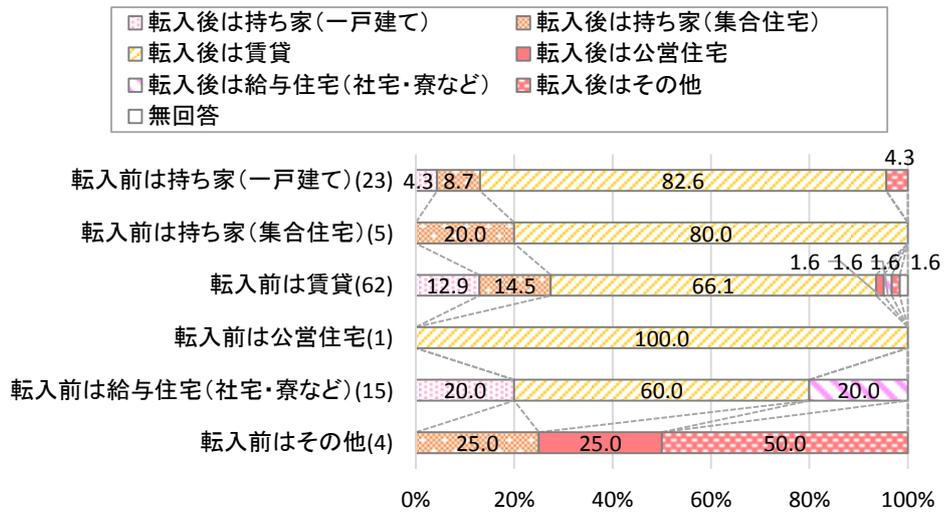
【全体の回答傾向】

- ・転入前の住居の形態については、「賃貸住宅」が 62 世帯（55.4%）と過半数を占めており、以下、「持ち家（一戸建て）」が 23 世帯（20.5%）、「給与住宅（社宅・寮など）」が 15 世帯（13.4%）で続いています。



【朝霞市に転入する前の住宅の形態とこれから住む住宅の形態】

- ・朝霞市に転入する前が「賃貸」だった方、「持ち家」だった方の違いに関わりなく、転入後は「賃貸」となる方が多い状況となっています。

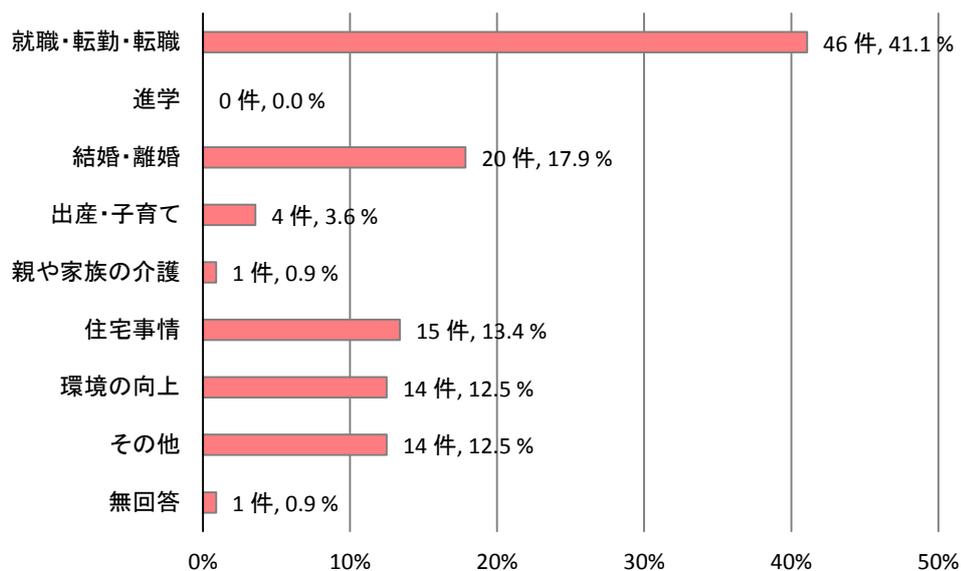


Ⅱ 転入のきっかけと理由について

(1) 主な転入のきっかけについて（複数回答可）

【全体の回答傾向】

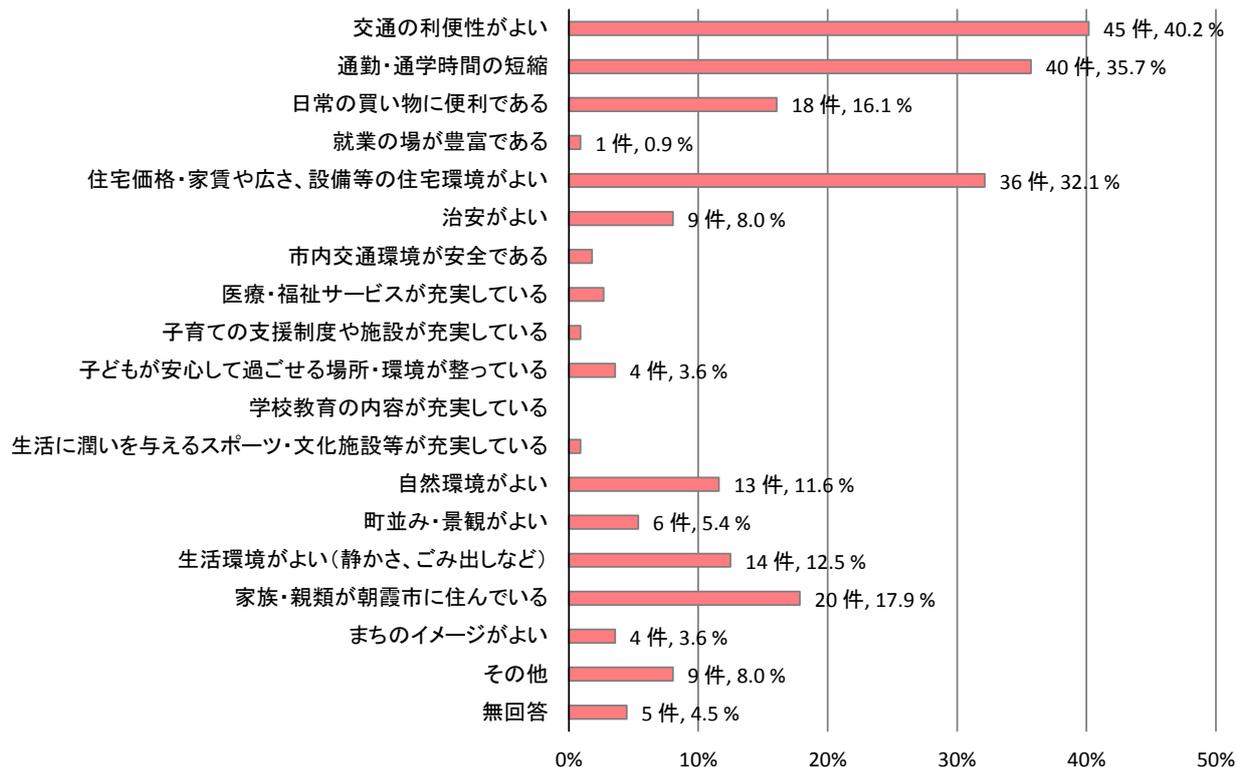
- ・主な転入のきっかけについては、「就職・転勤・転職」が46件（41.1%）で最も多く、「結婚・離婚」が20件（17.9%）、「住宅事情」が15件（13.4%）、「環境の向上」が14件（12.5%）が続いています。



(2) 朝霞市を居住地に決めた理由について

【全体の回答傾向】

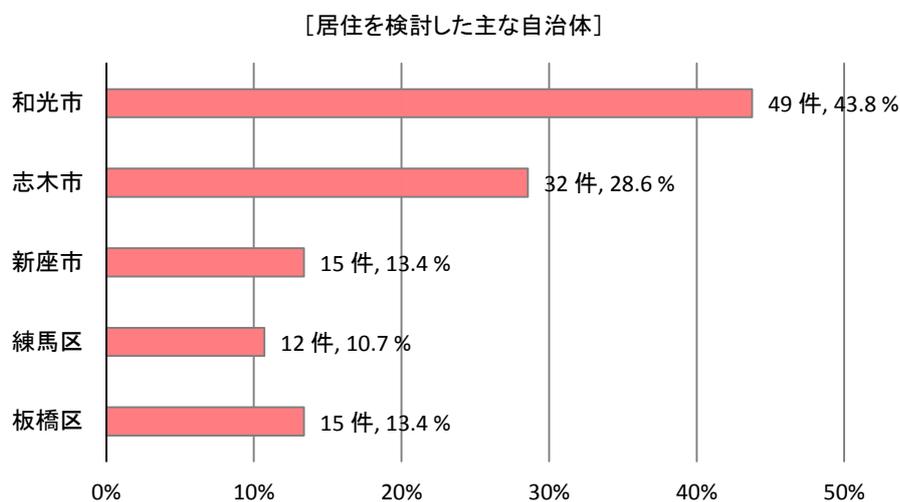
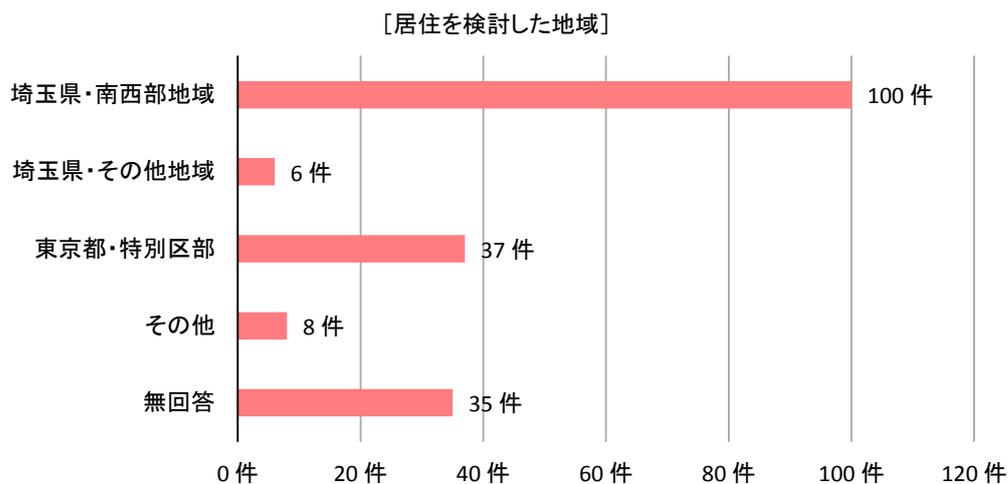
- ・本市を居住地に決めた理由については、「交通の利便性が良い」が 45 件 (40.2%) と最も多く、「通勤・通学時間の短縮」の 40 件 (35.7%) と合わせて、他地域に行きやすいことが評価されています。
- ・次いで、「住宅価格・家賃や広さ、設備等の住環境が良い」が 36 件 (32.1%)、「家族・親類が朝霞市に住んでいる」が 20 件 (17.9%) と多くなっています。
- ・また、「日常の買い物に便利である」も 18 件 (16.1%) で続いています。



(3) 朝霞市以外で居住を検討した地域について

【全体の回答傾向】

- ・朝霞市以外で居住を検討した地域について見ると、本市周辺の「埼玉県・南西部地域」との回答が100件で最も多くなっています。
- ・内訳をみると、「和光市」が49件（43.8%）と最も多く、次いで、「志木市」が32件（28.6%）、「新座市」が15件（13.4%）となっています。
- ・東京都・特別区部の内訳をみると、「板橋区」が15件（13.4%）、「練馬区」が12件（10.7%）となっています。



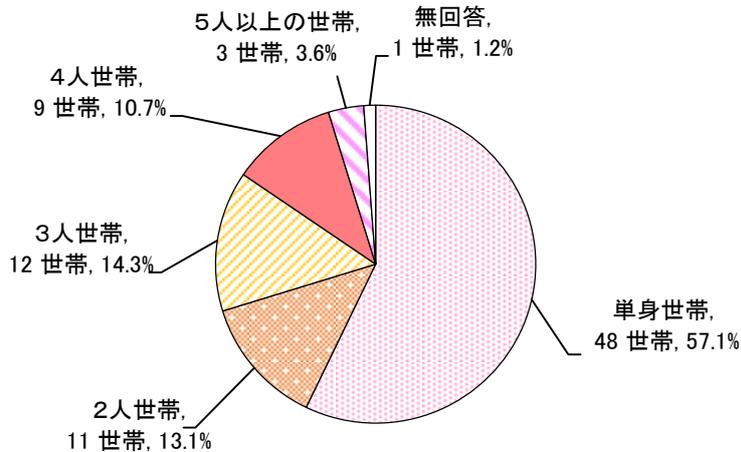
Ⅱ 調査結果（転出世帯用）

Ⅰ 世帯構成とお住まいについて

（１）今回転出される方の世帯構成について

【全体の回答傾向】

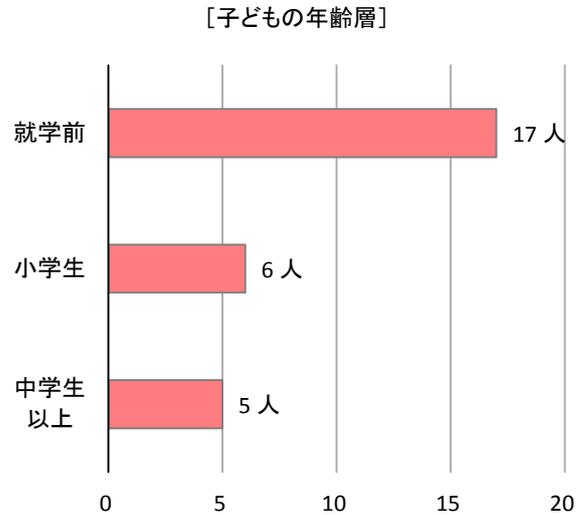
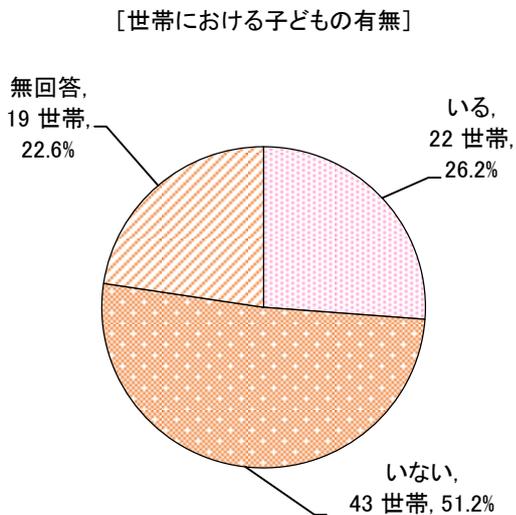
- ・転出者の世帯構成については、「単身世帯」が48世帯（57.1%）で最も多く、次いで「3人世帯」が12世帯（14.3%）、「2人世帯」が11世帯（13.1%）で、全体の約85%を占めています。
- ・その他、「4人世帯」が9世帯（10.7%）、「5人以上の世帯」が3世帯（3.6%）となっています。



（２）お子様について

【全体の回答傾向】

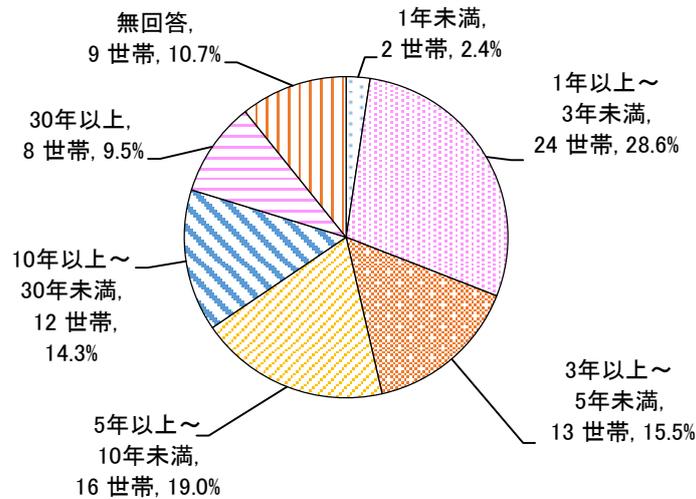
- ・子どもがいる世帯は22世帯（26.2%）、子どもの人数は28人となっています。
- ・年齢層は「就学前」が17人と最も多く、「小学生」が6人、「中学生以上」が5人となっています。



(3) 朝霞市に居住した年数について

【全体の回答傾向】

- ・本市に居住した年数については、「1年以上～3年未満」が24世帯（28.6%）で最も多く、「1年未満」（2世帯、2.4%）も合わせた『3年未満（合計）』が31.0%となっています。
- ・以降、「3年以上～5年未満」が13世帯（15.5%）、「5年以上～10年未満」が16世帯（19.0%）となっており、『5年未満（合計）』が46.5%で約過半数、『10年未満（合計）』が65.5%で約7割を占めます。
- ・その他、さらに長く居住していた、「10年以上～30年未満」が12世帯（14.3%）、「30年以上」が8世帯（9.5%）となっています。

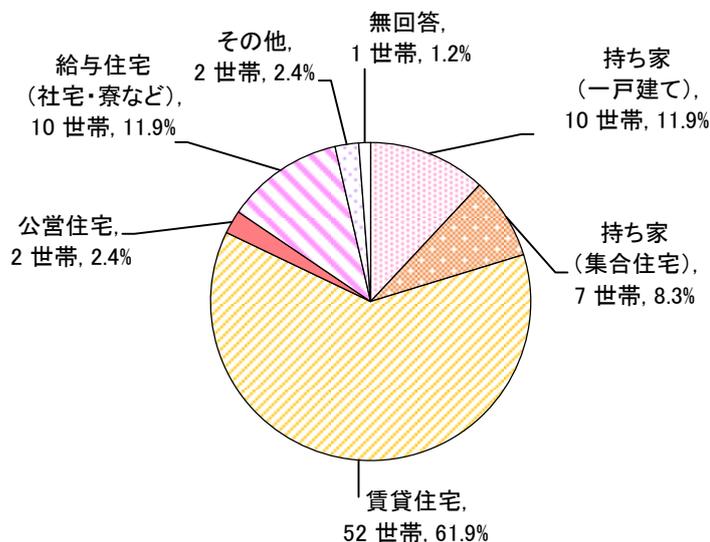


(4) お住まいだった住宅について

①お住まいだった住宅の形態

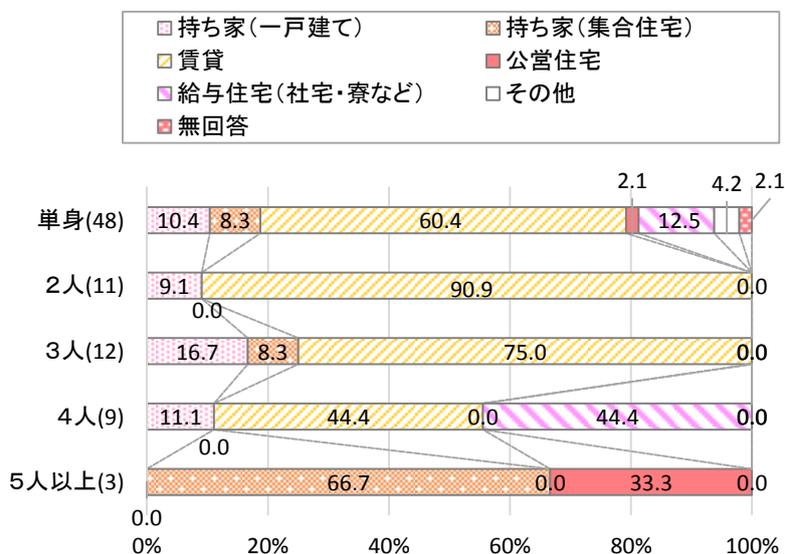
【全体の回答傾向】

- ・住宅の形態は、「賃貸住宅」が52世帯(61.9%)で最も多くなっています。以下、「給与住宅(社宅・寮など)」と「持ち家(一戸建て)」が、それぞれ10世帯(11.9%)で続いています。



【世帯別回答傾向】

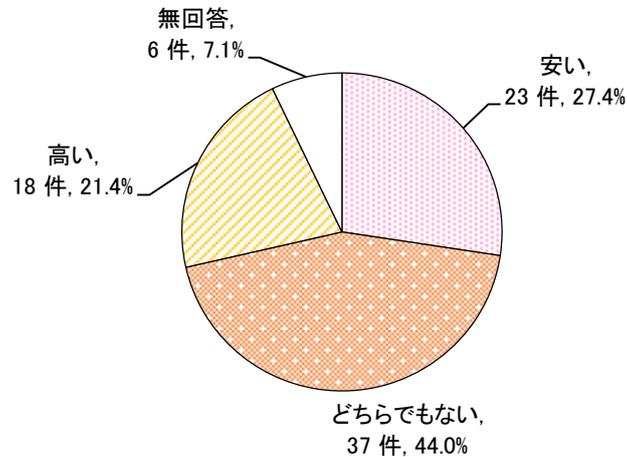
- ・世帯の違いに関わりなく、主に「賃貸」での居住となっています。



②価格・家賃の印象

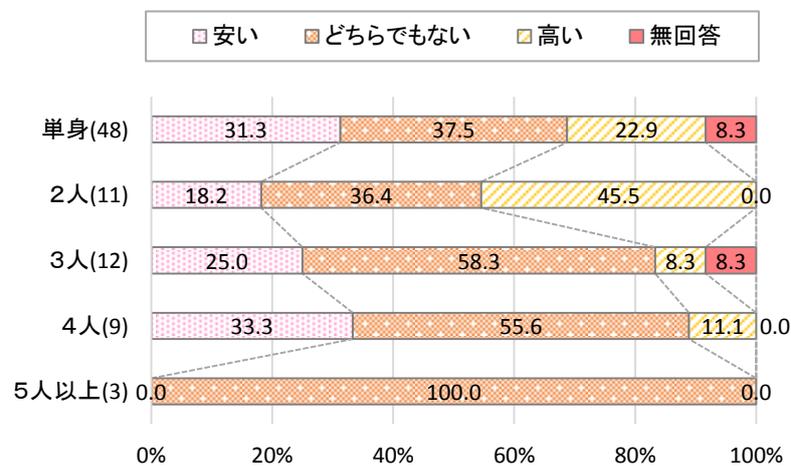
【全体の回答傾向】

- ・住宅の価格又は家賃の印象については、「どちらでもない」が37件（44.0%）と最も多くなっています。また、「安い」が23件（27.4%）、「高い」が18件（21.4%）と均衡しており、評価が分かれる結果となっています。



【世帯別回答傾向】

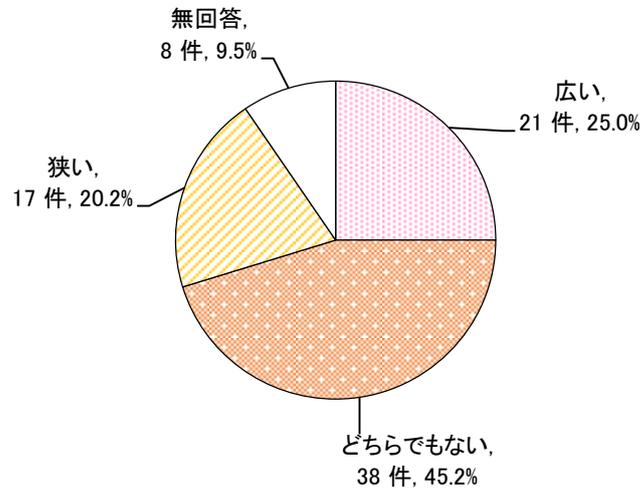
- ・世帯の違いに関わりなく、「安い」と「どちらでもない」という評価が高い割合を占めており、朝霞市の住宅の価格は“標準的～安め”と評価されています。



③広さの印象

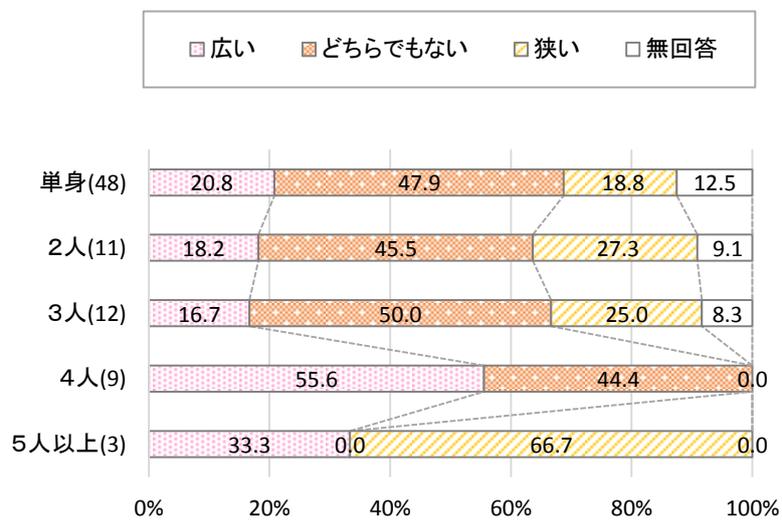
【全体の回答傾向】

- ・住宅の広さの印象については、「どちらでもない」が38件(45.2%)と約半数を占めています。また、「広い」が21件(25.0%)、「狭い」が17件(20.2%)と均衡しており、前掲の価格・家賃と同様に評価が分かれる結果となっています。



【世帯別回答傾向】

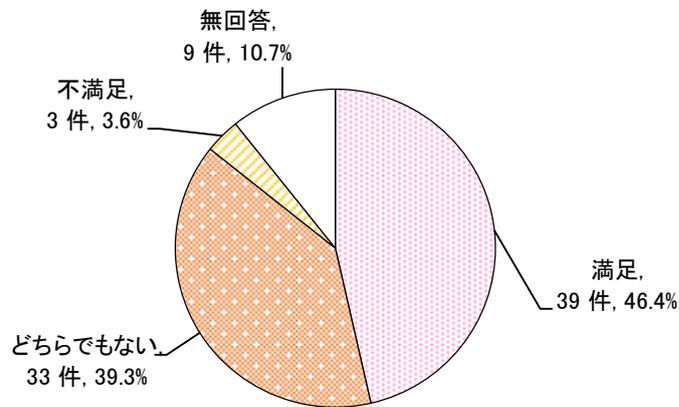
- ・世帯の違いに関わりなく、「広い」と「どちらでもない」という評価が高い割合を占めており、朝霞市の住宅の広さは“標準的～広め”と評価されています。



④部屋数への満足度

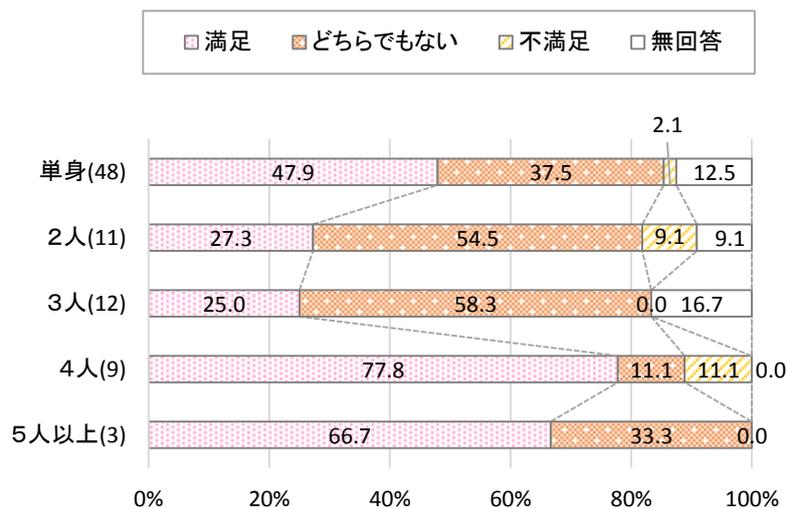
【全体の回答傾向】

- ・住宅の部屋数については、「満足」の39件(46.4%)と「どちらでもない」の33件(39.3%)が均衡しており、両者を合わせると85.7%を占めています。一方で、「不満足」は3件(3.6%)に留まっており、全体として見れば、評価は「満足」に寄っていると見ることができます。



【世帯別回答傾向】

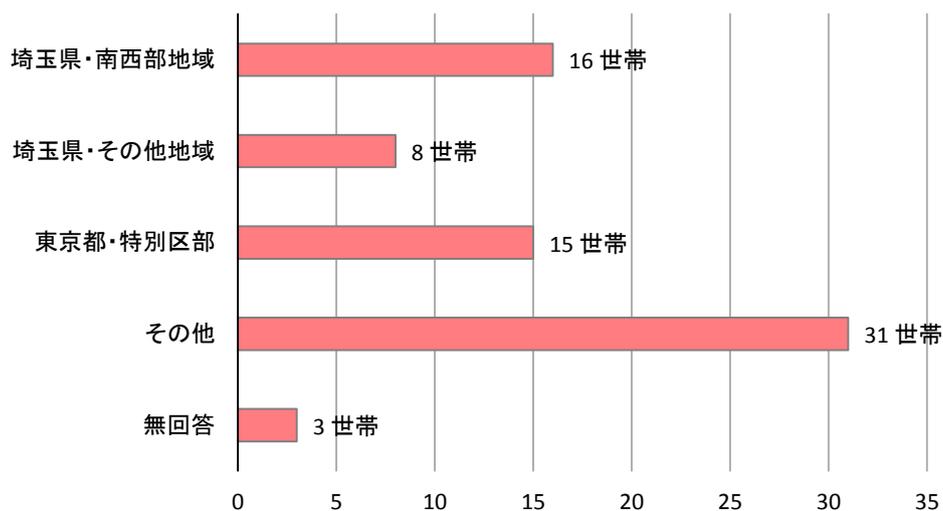
- ・世帯の違いに関わりなく、「満足」と「どちらでもない」という評価が高い割合を占めており、朝霞市の住宅の部屋数は“標準的～十分な部屋数”と評価されています。



(5) 転出先の地域について

【全体の回答傾向】

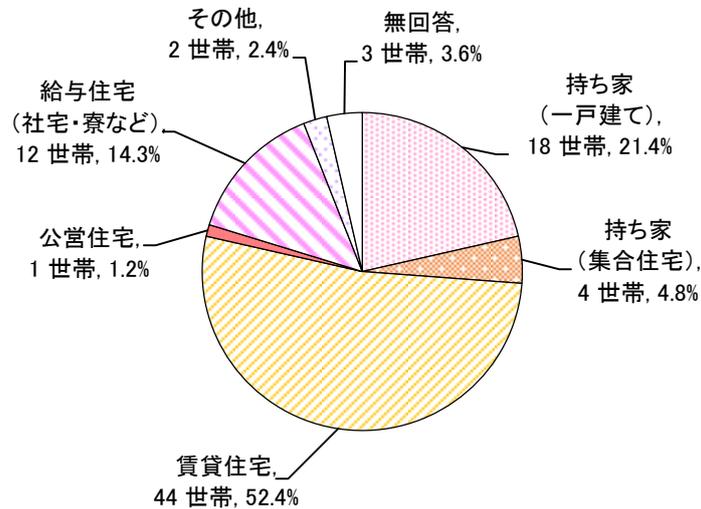
- ・転出先の居住地については、埼玉県内が 24 世帯、東京都内が 15 世帯となっています。
- ・埼玉県内では、本市周辺の「南西部地域」が 16 世帯と半数以上を占め、内訳をみると「新座市」が 8 世帯で最も多くなっています。
- ・東京都内では「特別区部」が 15 世帯となっており、その内訳をみると「板橋区」が 8 世帯、「練馬区」が 5 世帯と多くなっています。



(6) 転出先のお住まいの形態

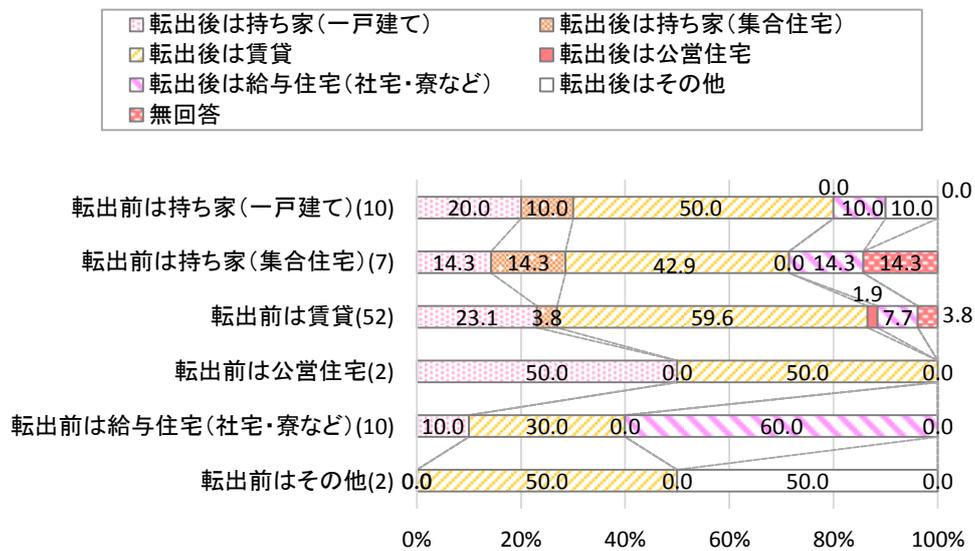
【全体の回答傾向】

- ・転出先の住居の形態については、「賃貸住宅」が 44 世帯 (52.4%) と半数を占めており、以下、「持ち家 (一戸建て)」が 18 世帯 (21.4%)、「給与住宅 (社宅・寮など)」が 12 世帯 (14.3%) で続いています。



【朝霞市でお住まいだった住宅の形態と転出後の住宅の形態】

- ・朝霞市で住んでいた住宅の形態が「賃貸」だった方、「持ち家」だった方の違いに関わりなく、転出後は「賃貸」となる方が多い状況となっています。
- ・朝霞市で「持ち家」で、転出後も「持ち家」の方が 20%前後、朝霞市で「賃貸」で、転出後に「持ち家」に変わる方が 20%前後となっています。

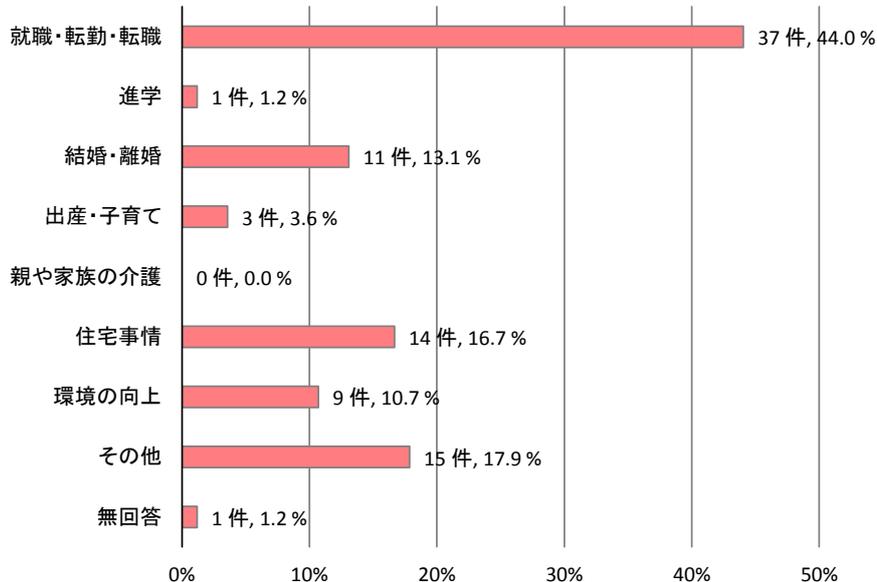


II 転出のきっかけと理由について

(1) 主な転出のきっかけについて（複数回答可）

【全体の回答傾向】

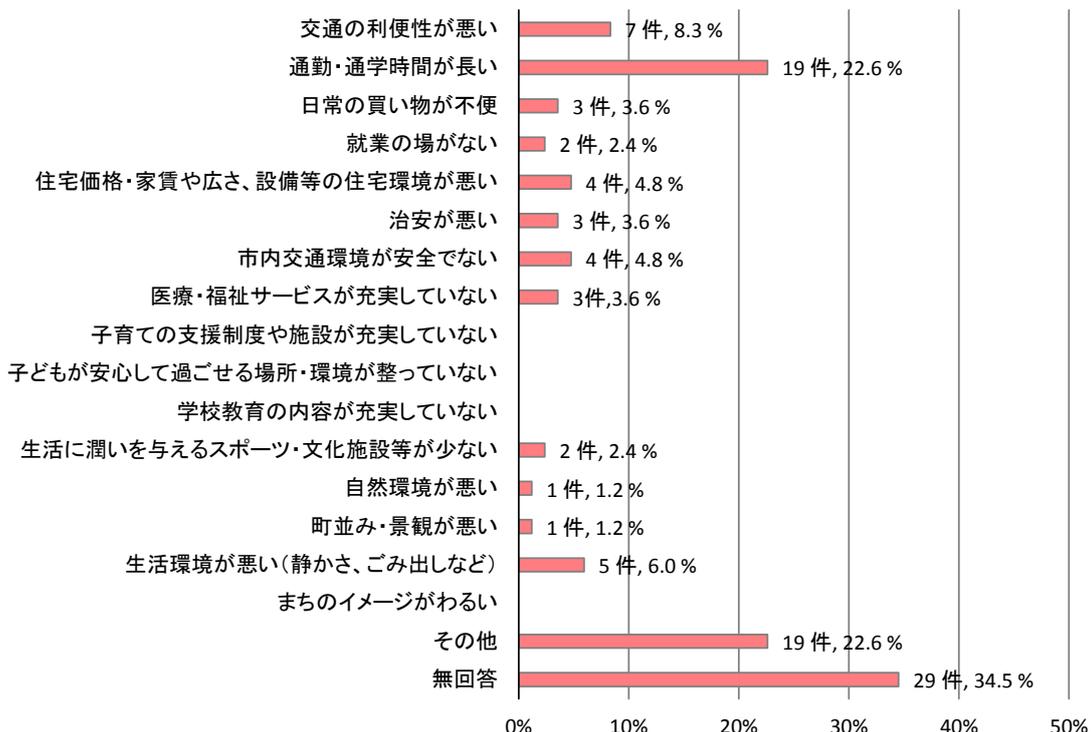
- ・主な転出のきっかけについては、「就職・転勤・転職」が 37 件（44.0%）で最も多く、「住宅事情」が 14 件（16.7%）、「結婚・離婚」が 11 件（13.1%）、「環境の向上」が 9 件（10.7%）が続いています。



(2) 朝霞市から転出する理由について。

【全体の回答傾向】

- ・本市から転出する理由については、「通勤・通学時間が長い」が 19 件（22.6%）と最も多くなっています。なお、「その他」と「無回答」が多く、他の項目については回答が 7 件以下と少なくなっています。



(3) 将来、朝霞市に戻ることにについて

【全体の回答傾向】

- ・将来、機会があれば朝霞市に戻りたいと思うかについては、「どちらかといえば戻りたい」が 42 件（50.0%）と過半数を占め、「ぜひ戻りたい」の 17 件（20.2%）と合わせて、肯定的な意向が 70.2% と約 7 割に達しています。
- ・一方で、「戻りたくない」と「どちらかといえば戻りたくない」がそれぞれ 8 件（9.5%）となっており、否定的な意向も 19.0% と約 2 割を占めています。

